

# 2011年3月期 決算説明会

トヨタ紡織株式会社

2011年5月16日(月)

# 11/3月期 震災の影響

## 1.被害を受けた工場

- トヨタ紡織東北(株) ・宮城工場 (宮城県 大衡村)  
・北上工場 (岩手県 北上市)  
・江刺工場 (岩手県 奥州市)

## 2.被害状況

建屋・・・天井・壁に一部被害あり  
設備・・・被害なし

## 3.稼働への影響

3月11日 後直以降 稼働停止

補給バンパ、フィルター製品(市販品)等の一部ラインを除く

## 4.11/3月期業績への影響(連結)

売上高	約△250億円
利益	約 △40億円 (うち△18億円は特別損失で処理)

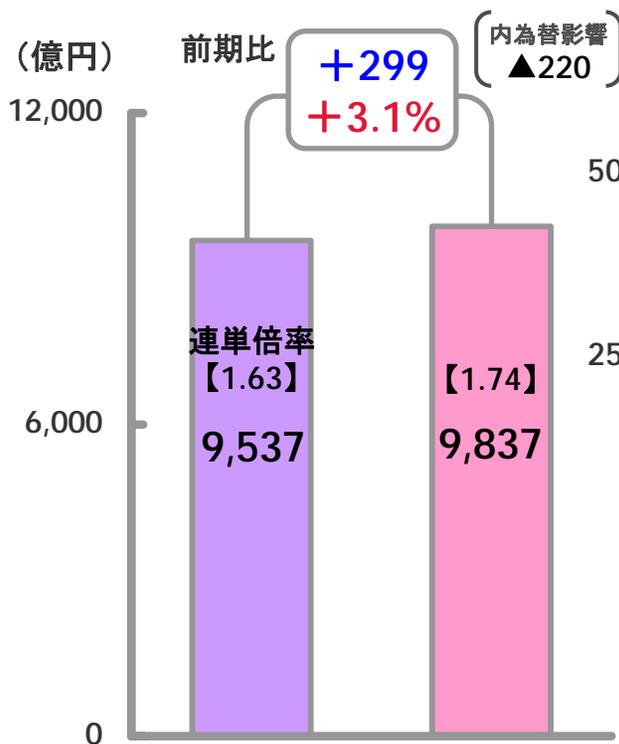
---

## ◇ 11/3月期 決算状況

# 11/3月期 決算状況

## 売上は微増ながら、収益構造改革活動の成果により大幅増益

### 売上高

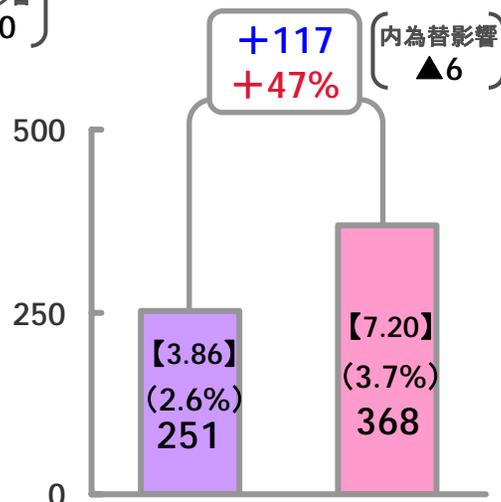


10/3期 11/3期

米ドル	92.85円	85.72円
人民元	13.69円	12.96円
タイバーツ	2.75円	2.75円
ユーロ	131.15円	113.12円

### 営業利益

(営業利益率)

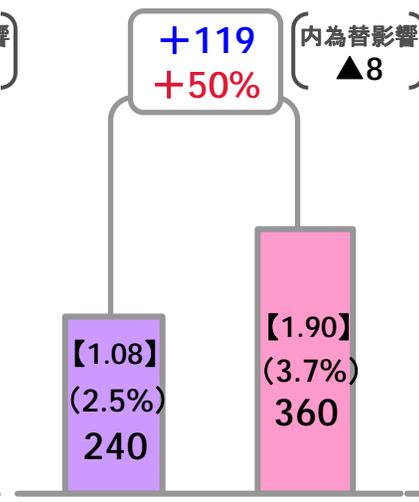


10/3期

11/3期

### 経常利益

(経常利益率)

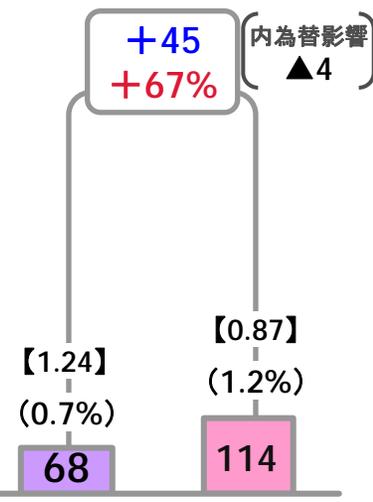


10/3期

11/3期

### 当期純利益

(当期純利益率)



10/3期

11/3期

### 1株当たり当期純利益

**37.00 円** → **61.82 円**

### 配当金

**13 円** → **16 円**

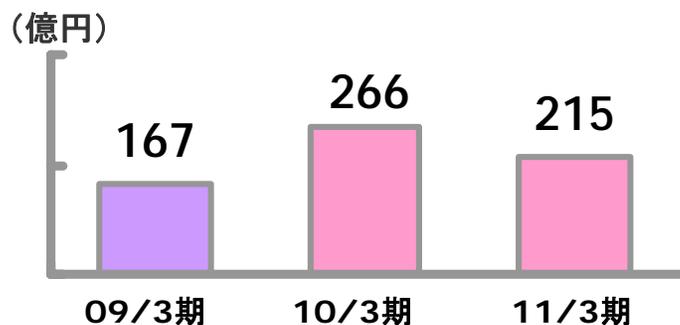
# 収益構造改革の取組み

## 収益体質は着実にアップ

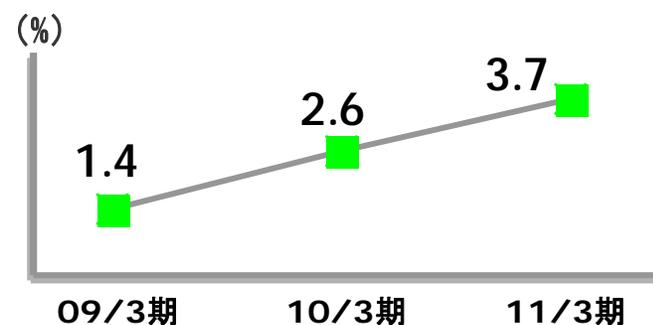
### 活動の取組み

09/3期	10/3期～11/3期	12/3期
緊急収益改善委員会	収益構造改革委員会	R-50委員会
<b>「緊急避難」</b> ・固定費のムダ取り	<b>「低操業でも利益の出る事業構造改革」</b> ・ミニマム予算の継続 ・変動費改善 ・北中南米収益の抜本的改善	<b>「半減活動」により発想の転換</b> -開発・もの造り改革 -固定費のスリム化

### 改善額(単年)



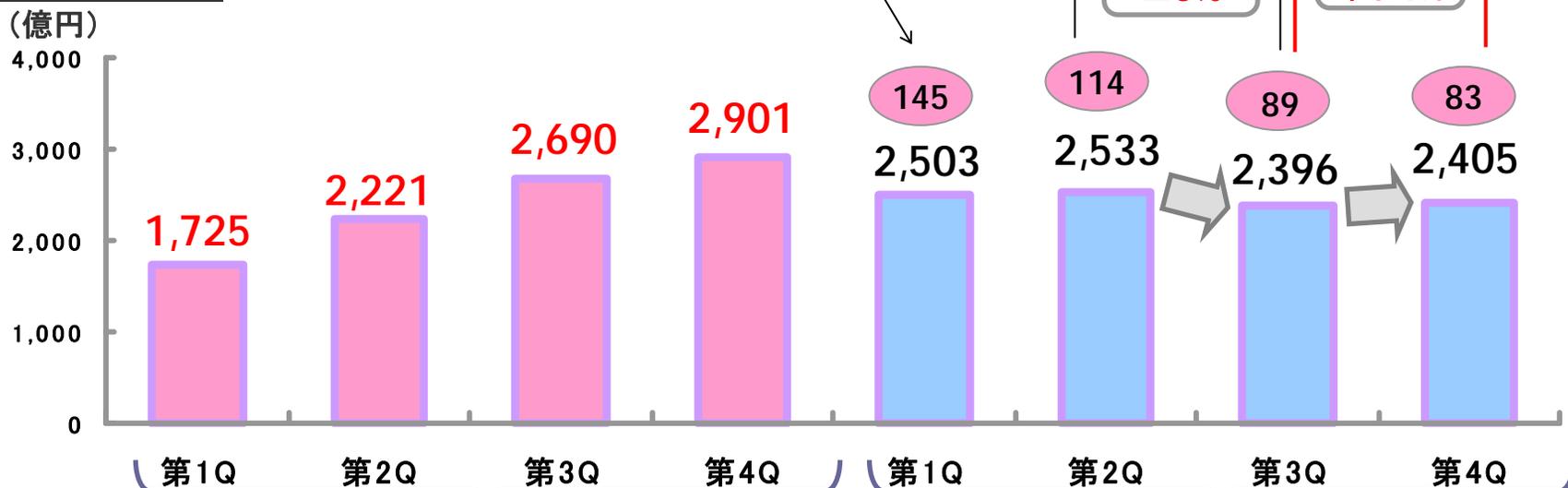
### 連結 営業利益率



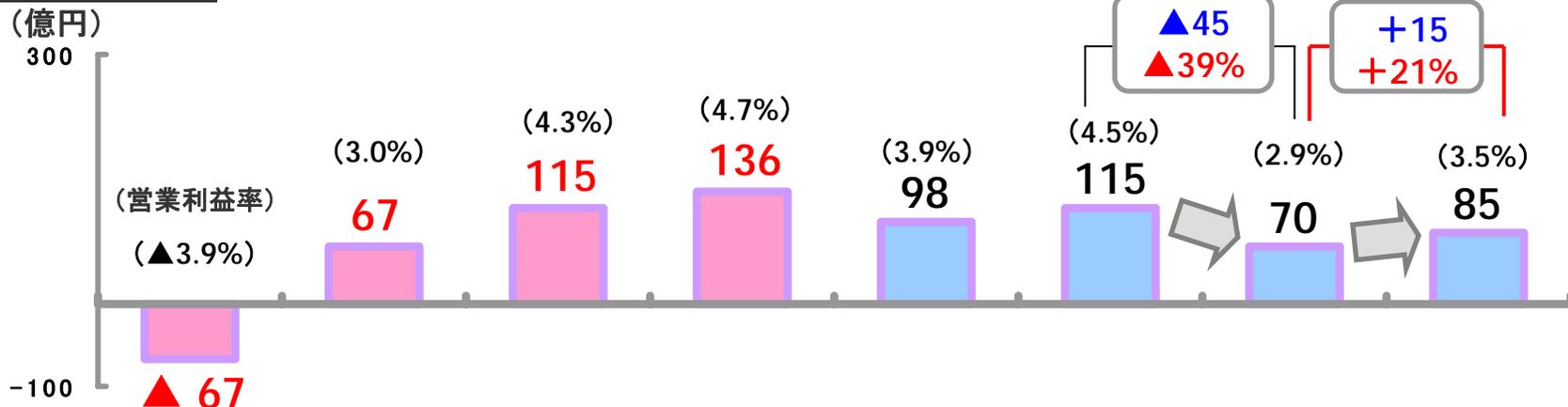
# 11/3月期 決算状況

## 第3四半期に落ち込みはあったものの、第4四半期は持ち直し

### 売上高



### 営業利益

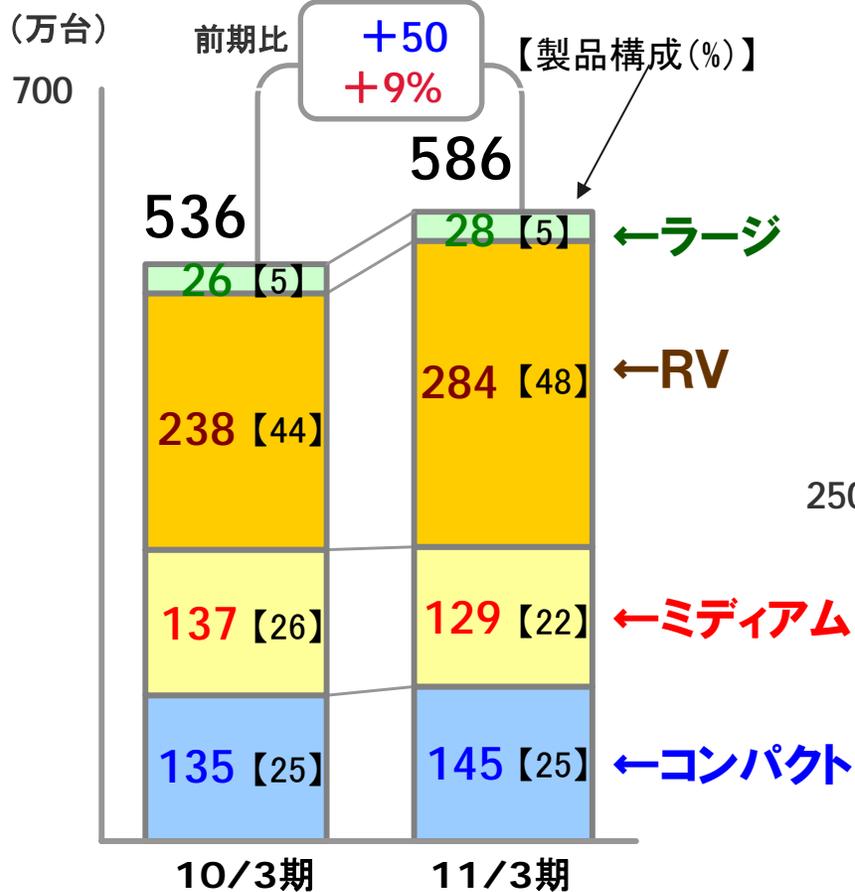


# 11/3月期 地域別売上台数

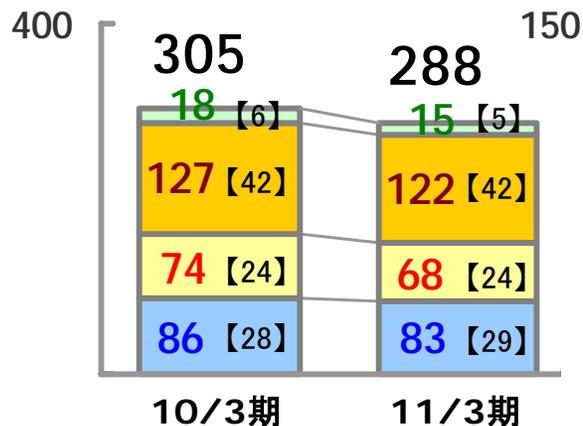
日本は全てのクラスで減少、その他の各地域は増加

## シートASSY台数

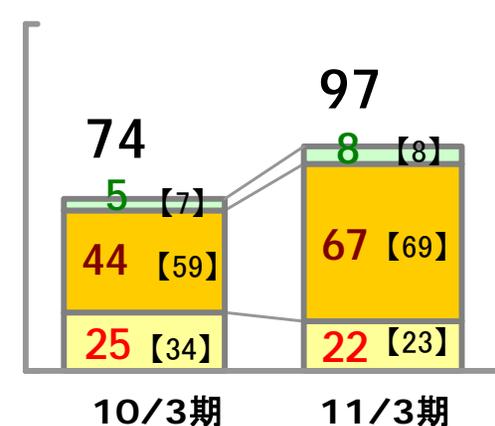
### 全 体



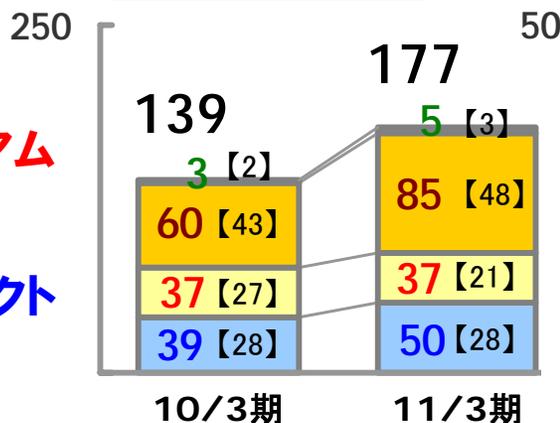
### 日 本



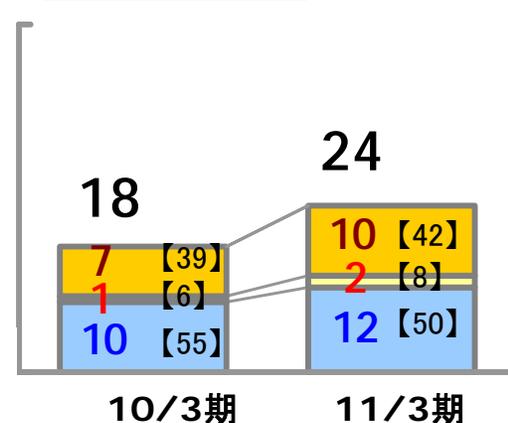
### 北中南米



### アジア・オセアニア



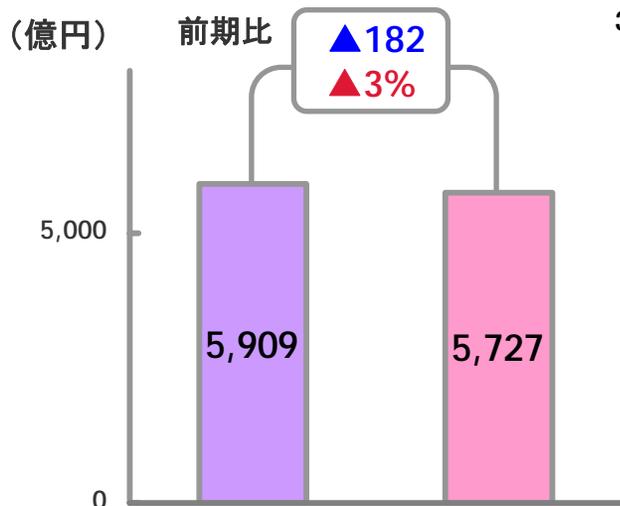
### 欧州・アフリカ



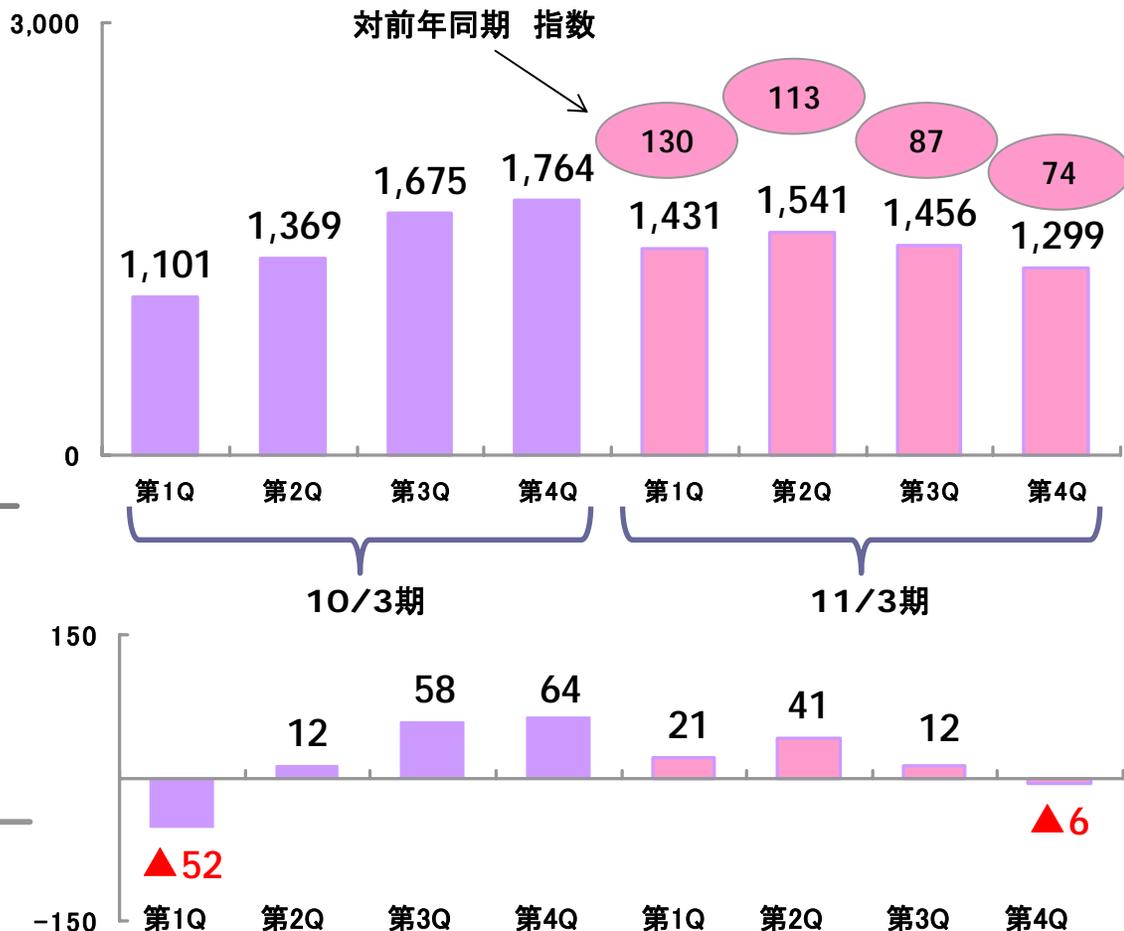
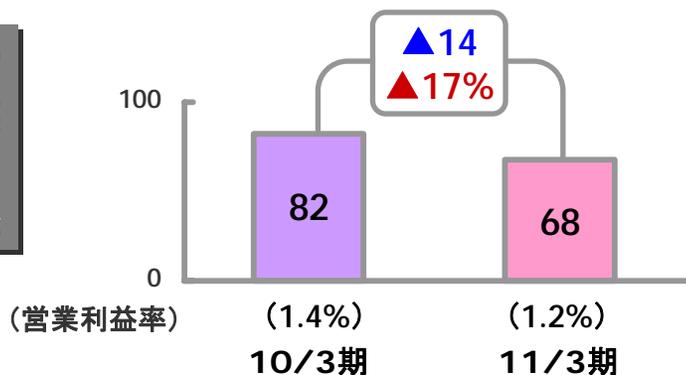
# 11/3月期 地域別売上高・営業利益①

日本

売上高



営業利益

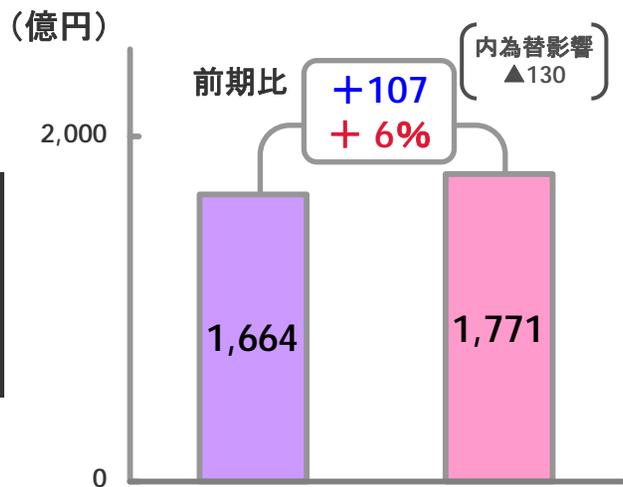


- ・収益構造改革の成果はあるものの、エコカー補助金打ち切り、震災の影響により減収減益
- ・第3四半期以降の落ち込みが大きく、第4四半期では赤字

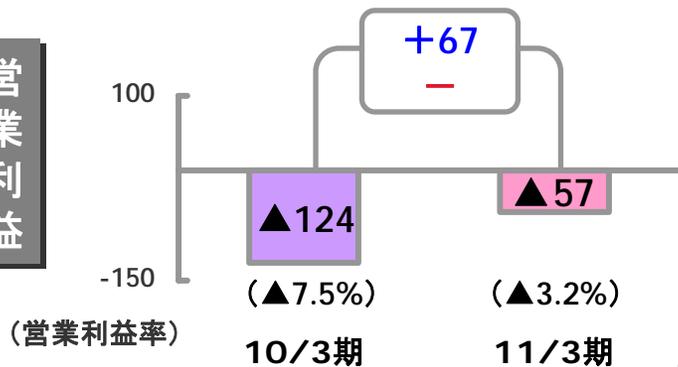
# 11/3月期 地域別売上高・営業利益②

## 北中南米

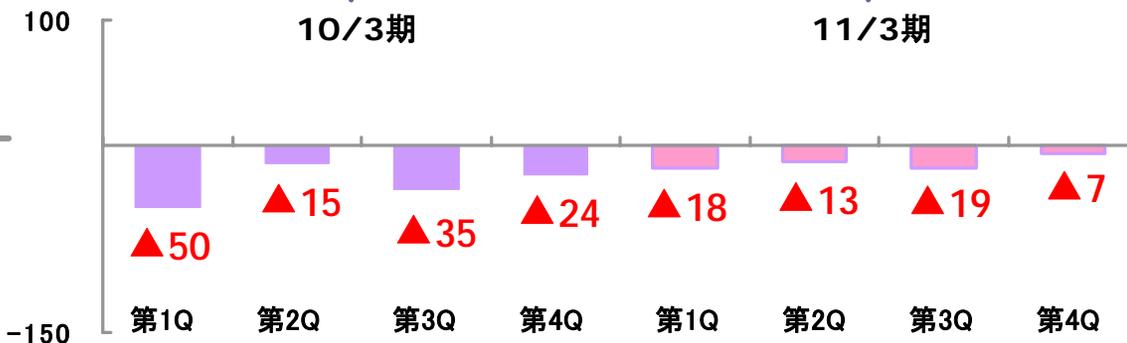
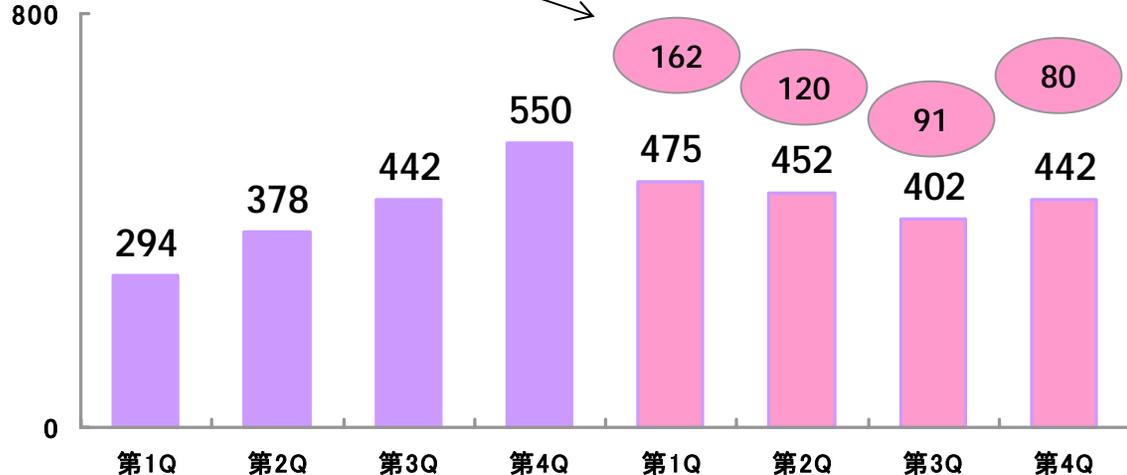
売上高



営業利益



対前年同期 指数

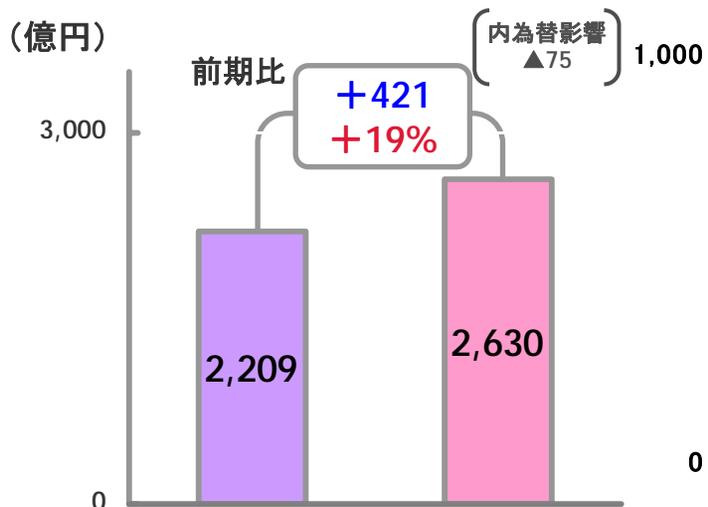


- ・新製品準備費用の減少や収益構造改革 特別推進プロジェクトの成果により増益
- ・四半期ごとの推移でも徐々に赤字減少 収益体質は着実に改善

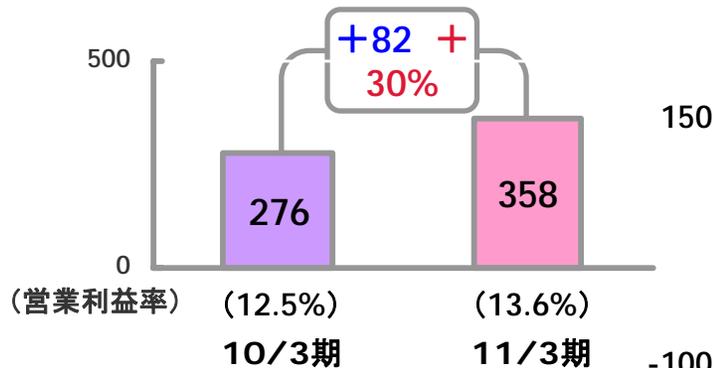
# 11/3月期 地域別売上高・営業利益③

## アジア・オセアニア

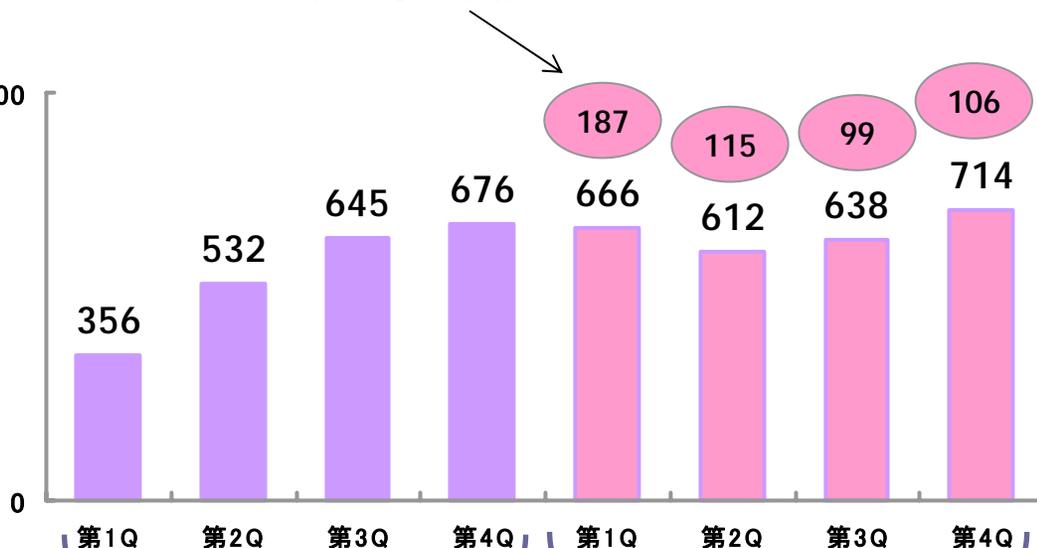
売上高



営業利益

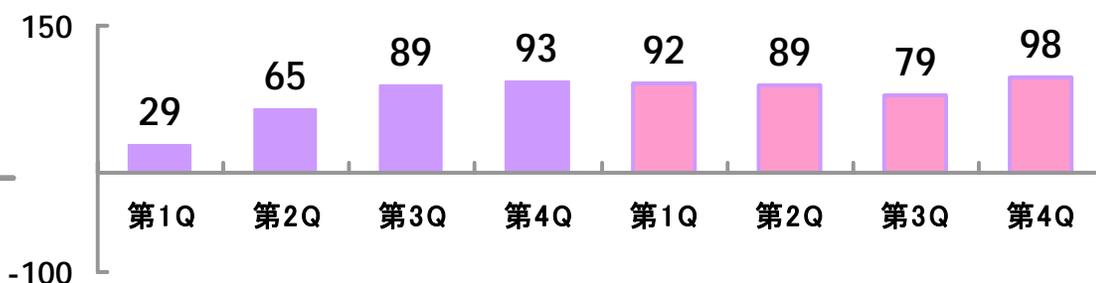


対前年同期 指数



10/3期

11/3期

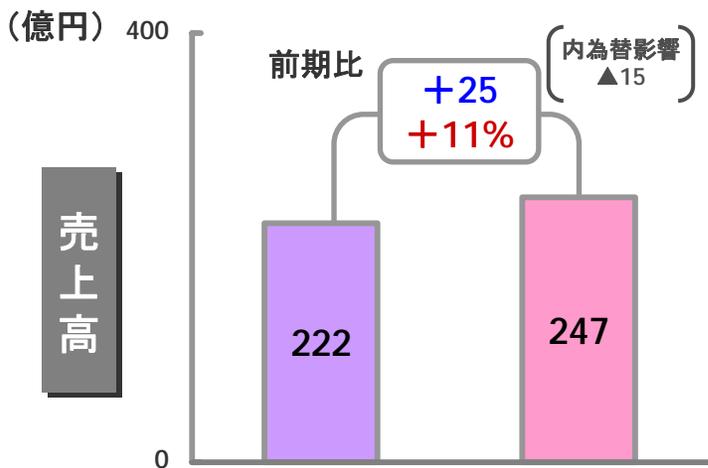


- ・中国・広州のハイランダーや天津のRAV4、タイのIMVの増産効果などにより増収増益
- ・四半期ごとの推移でも、堅調に利益確保

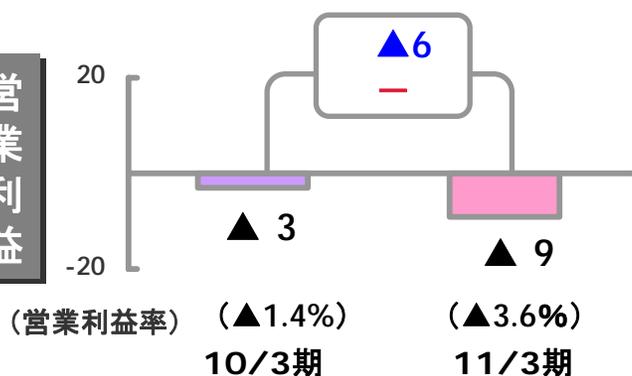
# 11/3月期 地域別売上高・営業利益④

## 欧州・アフリカ

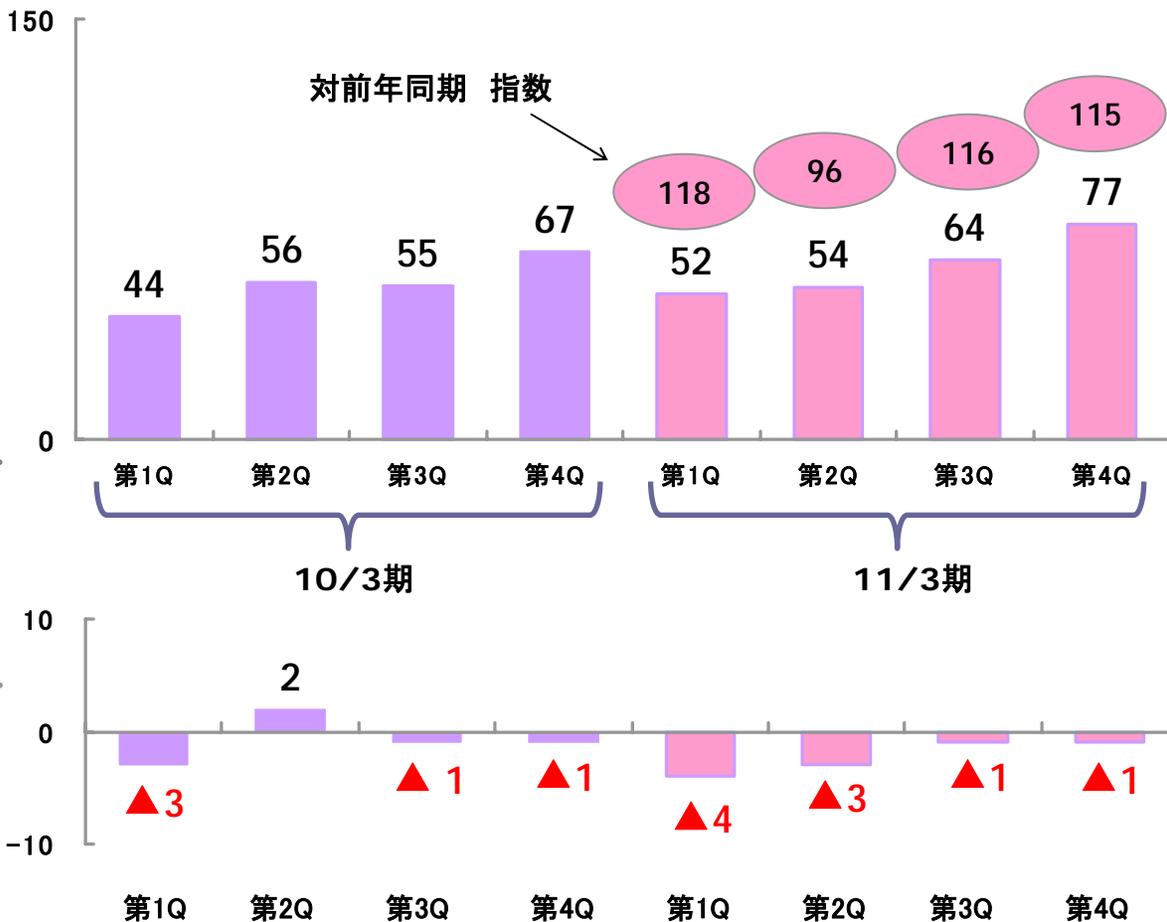
売上高



営業利益



対前年同期 指数

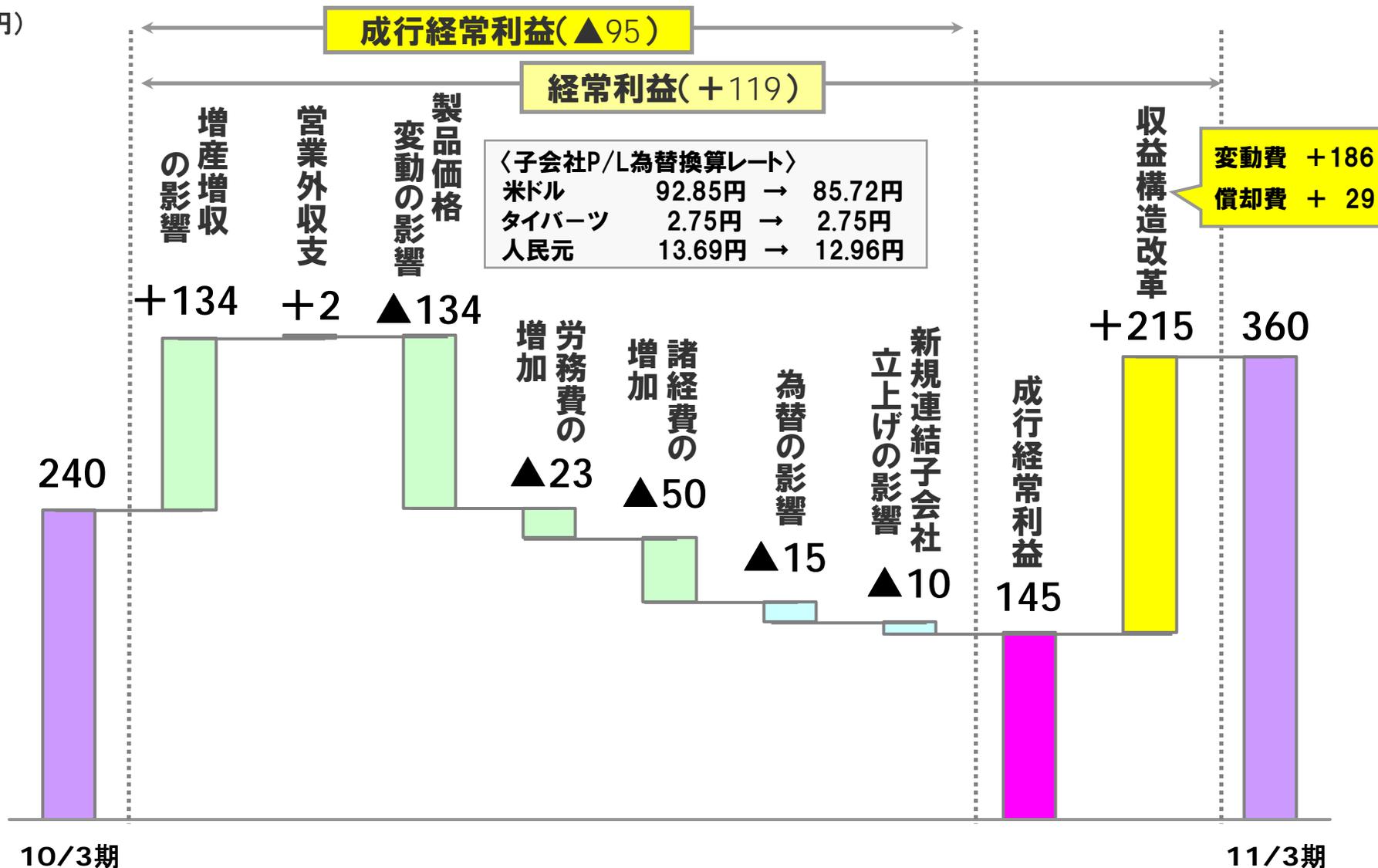


- ・南アフリカのIMVの増産効果などにより増収
- ・TBソマン、TBAIポーランドの次期ヤリス生産準備費用の増加により減益

# 11/3月期 経常利益増減要因

成行では減益となるものの、収益構造改革の継続により増益

(億円)



# 11/3月期 設備投資

## モデルチェンジ投資を中心に、グローバル供給体制を整備

